

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年 4月1日

基本情報	事業名称		担当部署								
	予防事業費 〔結核住民検診〕		部	健康いきいき部			係	予防係			
			課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	1 施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☒ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	1	
開始年度	年度 ☒ 不詳				行政報告書	324 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症予防法」）第五十三条の2に基づく、結核に係る定期的健康診断の実施。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	① 18～64歳の市民 ② 65歳以上の市民				検診受診者が、結核感染の有無を知り、感染等の異常が発見された場合は早期に対処することで、他者への感染を防ぎ、健康が保持される。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	・レントゲン車による、胸部レントゲン撮影（年3回） ・有所見者への再検査、受診勧奨				結核の発生及び感染症のまん延防止						
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	330,000		330,000		429,000			
	財源	一般財源	円	330,000		330,000		429,000			
		特定財源（国・都・他）	円	0		0		0			
		（うち受益者負担）	円					0			
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.01		0.01		0.01			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	81,600		81,600		81,600			
職員人件費（再任用）		円									
事業費+人件費		円	411,600		411,600		510,600				
4 課題	(1) 令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	保育士等を雇用し、18～64歳を対象とする実施日を設定しているが、受診者が少なく、65歳以上も対象として、定員の枠をそれぞれ設定してはどうか。										
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	令和5年度から65歳未満の方も対象に含めるための調整を行った。										
	(3) (2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
5 今後の方向性	(1) 仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	感染症予防法に基づき、結核に係る定期健康診断を継続実施する。										
	(2) 上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年 4月1日

基本情報	事業名称		担当部署								
	予防事業費 〔感染症対策事業（消毒）〕		部	健康いきいき部			係	予防係			
			課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	1 施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	1	
開始年度	年度 ☒ 不詳				行政報告書	324 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症予防法」）第27条第2項に基づく、保健所から指示があった場所の消毒								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症予防法」）第27条第2項に基づく、保健所から指示があった場所				①感染症の発生防止 ②感染症のまん延防止						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	保健所から指示のあった場所の消毒				感染症の発生及び感染症のまん延防止						
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	0		0		0			
	財源	一般財源	円	0		0		0			
		特定財源（国・都・他）	円	0		0		0			
		（うち受益者負担）	円	0		0		0			
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.0		0.0		0.0			
		所要人数（再任用）	人	0.0		0.0		0.0			
		職員人件費（再任用以外）	円	0		0		0			
職員人件費（再任用）		円	0		0		0				
事業費+人件費		円	0		0		0				
4 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	近年は、感染症予防法に基づく消毒はなく、大雨による溢水後の消毒を平成23年度、平成26年度に実施したのみである。平成28年度から、大雨による溢水時の消毒は、下水道については汚水と雨水が分離していることから、浄化槽を設置しているご家庭で汚水が溢れた場合のみ対象としたことから、近年は実施はないが、制度として継続する必要がある。いつ申請があっても対応できるよう準備しておく。										
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	申請が来た時に対応できるよう、定期的に物品や実施までの流れの確認。										
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
5 今後の方向性	(1)仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	(2)上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月1日

1 基本情報	事業名称		担当部署									
	予防事業費 〔予防接種費用助成〕		部	健幸いきいき部				係	予防係			
			課	健康推進課				課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ											
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいうまちづくり						第五次基本計画		65 ページ		
	施 策	施策2 — 1 保健、医療						複数施策		☐ あり		
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進						重要施策		☒ 該当	
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり						まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン		ページ	
		3	☐ 地域の医療体制の確保						実施計画		☐ 該当	
	事業種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）										
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	1		
開始年度	年度 ☒ 不詳				行政報告書		324 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	予防接種法、予防接種法施行令及び予防接種実施要領											
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		定期予防接種対象者のうち、やむを得ない事情により、当該予防接種対象期間内または指定医療機関で予防接種をできなかった市民に対して、その費用を助成。									
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	定期予防接種対象者のうち、やむを得ない事情により、当該予防接種対象期間内または指定医療機関で予防接種をできなかった市民					予防接種費用助成により対象者に対して、予防接種に係る経済的負担を軽減し、未接種者を減らし、対象者の疾病に対する予防を図る。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか					活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	予防接種に要した費用の助成					予防接種をするための環境を整えることができた。						
	効果指標			単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
			年度目標値	件	125		145		150			
			効果実績値	%	100		100		100			
			目標値設定の考え方	申請者に助成し、経済的負担をの軽減を図る。								
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
事業費（実績）		円	275,689,775		209,603,648		270,361,781					
財源		一般財源	円	208,319,280		196,213,498		221,414,053				
		特定財源（国・都・他）	円	67,370,495		13,390,150		48,947,728				
		（うち受益者負担）	円									
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	時間	50		50		50				
		所要人数（再任用）	時間									
		職員人件費（再任用以外）	円	215,000		210,000		210,000				
	職員人件費（再任用）	円										
事業費+人件費		円	275,904,775		209,813,648		270,571,781					
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について											
	特になし。											

5	市民協働の取組		取組手法：					
	☐ 取組んだ ☒ 取組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点							
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
		☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下	説明： 予防接種をするための環境を整えることができた。					
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
		☒ 向上 ☐ 維持 ☐ 低下	説明： ロゴフォームによる申請の検討を行った。					
		(3)指標の達成状況の評価						
			(2) 費用対効果		成果ランク	成果ランクの説明と方向性		
		(1)		向上	維持		低下	(評価)
		効果指標	向上	A	B		D	A
			維持	C	E		G	
			低下	F	H		I	
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、I のときは廃止を検討する。								
A：効果指標・費用対効果が共に向上 B：効果指標が向上・費用対効果が維持 C：効果指標が維持・費用対効果が向上 D：効果指標が向上・費用対効果が低下 E：効果指標・費用対効果が共に維持 F：効果指標が低下・費用対効果が向上 G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※ H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※ I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※								
(4)効率性評価（さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。）								
☒ 見直す余地がある ☐ 見直す余地はない		説明： 相手先自治体及び医療機関との調整を行わず、依頼文を発行し、後日、費用を返還することで調整時間の短縮が行えないか。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
☒ 大きい ☐ 小さい ☐ 不可能		説明： 定期予防接種は、接種期間の短い種類もあり、接種機会を逃すことによって免疫獲得の機会が失われてしまう。						
7	課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）						
		申請書類や申請までの流れを申請助成の一本化し、ホームページ等で周知を図る。						
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
		ロゴフォーム等での申請に向けた検討を行った。						
		(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）						
引き続き、導入に向けて申請方法等の検討を行うことが必要。								
8	方向性	(1)今後の取組（「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など）						
		ホームページの充実やロゴフォームについての検討を行う。						

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日

平成5年4月1日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	予防事業費 〔定期予防接種〕		部	健康いきいき部			係	予防係			
			課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	施 策	2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	328 ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	1	
開始年度	年度			☒ 不詳		行政報告書	324 ページ		新規・継続	継続	
実施の根拠 (法令・要綱等)	予防接種法、予防接種法施行令及び予防接種実施要領										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		定期予防接種の対象者への接種が行える環境を整えた。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	予防接種法施行令及び予防接種実施要領で定められた対象年齢である市民					対象者が、予防施主対象疾病にかかることを予防し、他者への感染を防止する。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	対象者に個別通知をし、医師会との委託契約等により個別接種を実施した。					定期予防接種を実施し、感染症の発生及びまん延を防止することができた。					
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	275,689,775		209,603,648		270,361,781			
	財 源	一般財源	円	208,319,280		196,213,498		221,414,053			
		特定財源（国・都・他）	円	67,370,495		13,390,150		48,947,728			
		（うち受益者負担）	円								
	人 件 費 （目 多）	所要人数（再任用以外）	人	1.5		1.5		1.5			
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	12,465,000		12,465,000		12,240,000			
職員人件費（再任用）		円									
事業費+人件費		円	288,154,775		222,068,648		282,601,781				
4 課題	(1) 令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	予防接種法（昭和23年6月30日法律第68号）第3条に基づき開始。伝染のおそれのある疾病及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から、予防接種の実施その他必要な措置を講ずることにより、国民の健康の保持に寄与することを目的に実施。近年、定期化する予防接種の種類が増加しているため、業務負担が増加している。令和2年10月1日からは、定期A類にロタウイルスが追加。令和4年4月1日からは、ヒトパピローマウイルスの積極的勧奨が再開となった。										
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	HPVワクチンでは、接種の機会を逃した方への救済を実施し、予診票等を送付した。予診票の再発行等でLoGoフォームを活用し、市民の利便性及び事務の効率化を図った。										
	(3) (2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
定期予防接種が増えていく一方で、業務量が増大している。											
5 今後の方向性	(1) 仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	LoGoフォーム等の活用で、事務の効率化を図る。										
	(2) 上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										
医師会や市民への周知。											

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他）

記入日 令和5年 4月1日

基本情報	事業名称		担当部署								
	予防事業費 [先天性風しん症候群]		部	健康いきいき部			係	予防係			
			課	健康推進課			課長名	幸村有紀			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	2 健康であたたかい心のかよいあうまちづくり					第五次基本計画	65 ページ			
	1 施策	施策2 — 1 保健、医療					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☐ 市民の自主的・自発的な健康づくりの促進					重要施策	☒ 該当		
		2	☒ 病気の予防及び早期発見・早期治療のための環境づくり					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ 地域の医療体制の確保					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☒ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せなし） ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	4	項	1	目	2	事業番号	1	
開始年度	年度 ☒ 不詳				行政報告書		324 ページ		新規・継続	継続	
実施の根拠 (法令・要綱等)	東京都風しん抗体検査事業実施要綱、東京都風しん抗体検査事業実施要領、先天性風しん症候群対策実施要領										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		発症予防のために、ワクチンの接種に係る経済的負担を軽減し、予防接種を受けやすい環境整備図った。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	19歳以上の市民で、 ①妊娠を希望している女性、②妊婦と同居する人 ③①と同居する人				風しん抗体を保有する。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	市医師会と契約し、抗体検査を実施した。（都からの委託）				免疫の有無が分かる						
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	275,689,775		2,092,736		270,361,781			
	財源	一般財源	円	208,319,280		1,958,834		221,414,053			
		特定財源（国・都・他）	円	67,370,495		133,902		48,947,728			
		（うち受益者負担）	円								
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	96.0		96.0		96.0			
		所要人数（再任用）	時間	0.0		0.0		0.0			
		職員人件費（再任用以外）	円	412,800		403,200		403,200			
職員人件費（再任用）		円	0		0						
事業費+人件費		円	276,102,575		2,495,936		270,764,981				
4 課題	(1) 令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	国の事業（風しん5期）と類似した事業であるが、国や都の通知に留意し、内容を整理して、委託先となる東大和医師会と調整等を図る。国の事業と本事業で、抗体検査値からの事業の移行等が発生した。										
	(2) (1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	年度当初に予防接種を委託する医療機関（医師会に所属する実施医療機関）に配布。医療機関が悩む際は、その都度電話等で事業内容について回答を行った。										
	(3) (2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
東大和医師会及び医師会員に事業の内容をわかりやすく周知をしていく必要がある。											
5 今後の方向性	(1) 仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	引き続き、年度当初に予防接種を委託する医療機関には、予防接種の委託内容を示した資料を先天性風しん症候群だけでなく、すべての予防接種の内容を示した資料を送付する。										
	(2) 上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										
予防接種の資料はボリュームがあり、書式も予防接種の種類ごとに統一されたものでなく、わかりにくいいため改善が必要である。											